

- HOME
- DIARY
- PROFILE
- AUCTION
- BBS
- BOOKMARKS
- SHOPPING LIST

メール

メッセージを送る
友達にすすめる

カテゴリ

- ・カテゴリ未分類(0)
- ・日経225先物
(673)
- ・社会(39)
- ・インフルエンザ
(35)
- ・つぶやき(27)
- ・科学一般(15)
- ・健康(6)
- ・環境(6)
- ・エンターテイメント
(3)

フリーページ

papi
chappie
maron
pee
anny
chocopee

楽天広場 | 検索 | そのほか | ログイン

日経平均先物・オプション市場におけるin-situ 略・戦術

nnpapitnの日記

<< 前へ | 次へ >> | 一覧 | コメントを書く

全て | カテゴリ未分類 | 日経225先物 | 社会 | インフルエンザ | つぶやき
境 | エンターテイメント

2005年12月03日

電磁波／衝撃的な国立環境研究所論文と文部科学省の陳腐な評価

11月23日に電磁波の問題を取り上げましたら、結構な反響がで、そこで論じている国立環境研究所の元論文と、それに対する見解を、以下に引用します。元論文は長文なので、とりあえのみの掲載します。全文を読みたい方はメールでその旨お知ば、返信メールに添付して差し上げます。

なお、ここで用いられているテスラという単位は磁束密度の国が、従来用いられてきたガウスも米国を中心に今でも根強く用いられるので、その換算式を以下に示しておきます。

1T(テスラ) = 10000G(ガウス)

1μT(マイクロテスラ) = 10mG(ミリガウス)

ということになります。

【国立環境研究所 元論文の一部】

生活環境中電磁界による小児の健康リスク評価に関する研究

1. 詳細報告本文

独立行政法人国立環境研究所首席研究官
兜 真徳

1.はじめに

生活環境中の電磁界、とくに商用周波数の低レベル磁界の発